

プロ野球、牧秀悟選手が新人特別賞受賞！

上原 昇（2組）

当HP（2021年11月3日付）で、今年のプロ野球で大活躍した長野県中野市出身の新人選手、牧秀悟（松本第一高校から中央大を経て横浜ベイスターズ）について、新人王を期待するレポートをしました。以下はその結果報告です。

12月15日に行われた「NPB（日本野球機構）アワーズ2021」で最優秀新人賞が選定され、栗原良吏（りょうじ）投手（広島カープ）が選ばれました。牧は次点となり特別新人賞が贈られ、地元の中野市役所には祝福の懸垂幕が掲げられたそうです。

（写真）

報道によると、セ・リーグの後半戦に限ると牧は打率1位になります。

普通の年であれば、この成績ならば新人王間違いなしですが、今年は史上稀に見るハイレベルな新人王争いとなりました。

翌16日には、来季の契約更新があり、牧は今季年棒1300万円から7000万円と大幅に上がって、2年目の野手としては球界史上最高アップになるとのことです。

席上、「来年こそは、打点王を目指す」と意気込みを語った牧に期待したいと思います。参考までに、過去3シーズン、新人王を獲った選手（セ、パ両リーグ）の成績を調べてみました。新人王の翌年、更に成績を上げた選手は6名中2名しかいませんでした。

（19年ヤクルトの村上内野手と20年西武の平良投手）

「2年目のジンクス」とか言われますが、厳しい世界であることは間違いありません。

中野市役所の懸垂幕



以上
(21年12月16日記)